

令和四年度 奈良金春会演能会

令和四年十一月二十七日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨  
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール  
奈良市春日野町一〇一番地  
電話(〇七四二)二七一一・二六三〇(代)

仕舞 安宅 浦キリ 酒井賢一 吉川恵宥

能 金 札

シ テ(前・老翁) 高橋 忍  
ワ キ(勅使) 原 大  
ワキツレ(従臣) 有松 遼一  
ア イ(伏見の里の者) 井口 竜也 陸  
笛 赤井 啓三  
小鼓 荒木 建作  
大鼓 辻 雅之  
太鼓 上田 慎也

〈 休 憩 二十分 〉

狂言 因幡堂

仕舞 高砂 葛 網谷 正美  
邯鄲 玉 中村 昌弘 金春 憲和

能 紅葉狩

シ テ(前・上) 金春 飛翔  
ツ レ(侍女) 湯本 哲明  
ツ レ(侍女) 中田 能光  
ツ レ(侍女) 金春 嘉織  
ワ キ(平維茂) 原 陸  
ワキツレ(太刀持) 有松 遼一  
ワキツレ(勢子) 佐々木 奏太  
ワキツレ(勢子) 原 大  
ア イ(女) 井口 竜也  
ア イ(末社) 増田 浩紀  
笛 赤井 要佑  
小鼓 荒木 建作  
大鼓 辻 芳昭  
太鼓 上田 慎也

金 札 (きんさつ)

解説 中 司 由起子

桓武天皇の勅使(ワキ)が臣下(ワキツレ)を伴い、大宮(神社)を造営するために伏見の里を訪れる。宮造りの場に、伊勢国あこねの浦に住む祢宜姿の老人(前シテ)が現れる。老人は「切る物尽くし」の歌と椎の木や柳などの「木尽くし」の歌を謡って、宮の造営を寿ぐ。すると天より金札が降ってくる。老人は、自分は伊勢大神宮が遣わした天津太玉の神と明かして消え失せる。里の男(アイ)が、金札の降ってきた不思議な出来事を語る。やがて、天津太玉神(後シテ)が出現。弓で悪魔を射払って御代をたたえ、金札を宮に納める。観阿弥作の謡物「伏見」の一節を含んだ、古い形式の脇能と考えられています。

紅葉狩 (もみじがり)

女たち(前シテ・ツレ・アイ)が紅葉狩に出かけ、紅葉の木蔭で休んでいると、その近くを馬に乗った武将、平維茂(ワキ)が通りかかる。従者(ワキツレ)に様子をうかがいに行かせると、身分の高い女たちが宴を催しているとのことであった。立ち去ろうとするが、女に引き留められ酒宴に加わり、優雅な舞に見とれているうちに眠ってしまう。女たちの様子が変わり、維茂に「夢を覚ますな」と言い残し姿を隠す。維茂の夢に八幡神の末社の神(アイ)が現れ、女の正体は戸隠山の鬼であると告げ、太刀を授ける。鬼(後シテ)が目覚めた維茂にが襲いかかるが、激しい戦いの末に刺し倒される。女の優雅な舞が、途中で急に激しい舞へと変化する場面に注目。後半の鬼の登場を予感させます。

次回予告

●来年は、奈良春日野国際フォーラム薨の改修工事に伴い、会場をなら100年會館中ホールに変更し、開催します。

令和五年度 奈良金春会演能会 予定日

四月二十三日(日) 六月二十五日(日) 十月十五日(日) 十一月十九日(日)

令和五年度 奈良金春会連合 謡曲・仕舞会 予定日

七月十六日(日)

五枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

一般一回券

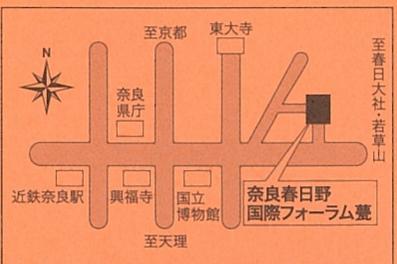
五、〇〇〇円

学生一回券

二、五〇〇円

鑑賞券(学生券を除く)

は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七一二六三〇代

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良金春会

後援 奈良良春会

奈良市教育委員会

(公社)金春円満井会

お問合せ 電話

(〇七四二)三三一九七二〇 金春

◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム薨に改称されました。

◎特別に許可された人以外の写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は、現在一般の方の車の受け入れをしております。車でお越しの方は、他所に駐車場をお求めいただくこととなります。

◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●ご来場されましたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記帳をお願いいたします。

●(万が一の場合)の追跡調査用としてのみ使用いたします。

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、新型コロナウイルス感染症対策として座席数に制限をかける場合があります。